

(別記)

3年度伊達市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

伊達市は、冬は暖かく、夏は過ごし易い温暖な気候であり、その安定した気候を生かし、野菜・酪農・米麦・雑穀といった多種多様な農畜産物を生産する混合経営地帯となっている（野菜協議会12部会・作付品目80種以上）。また、冬野菜のブランド化を図り施設利用栽培も進めており、通年を通して各種野菜の作付が行われている。水田活用でも全体の4割程が転作（野菜・畑作が主）で、主食用米の需要が減少する中で、加工用米等の対応と、より一層「野菜・畑作」を中心に転換を促進することで水田面積の維持を図っていく必要がある。

そのような中で、近年多発する病害虫による品質及び収量の低下が懸念されていることや、農家の高齢化が進むとともに、農家戸数の減少が見られ不作付地の改善など課題も有る。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域では、都市近郊複合型農業が展開されている。道内でも比較的温暖な気候を生かした作物の選定を推進し、高収益作物への転換やブランド化に向けた付加価値の創造を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

担い手不足は当地域の課題であるため、省力化に向けた畑地化の取り組みを推進すると共に、水田利用定着状況の点検を充実化させる。基盤整備事業が今後進行する予定のため進行状況や担い手育成の状況を加味し、最大限の有効利用を図る。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

地場販売で高評のななつぼしは学校給食提供やオリジナルブランド化を実施。また、ゆめぴりか等を中心に、安心・安全な米作りと消費者に求められる良食味米（低タンパク米）主産地としての地位を確保したい。

(2) 備蓄米

現状、作付予定はない。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

緊急対策を活用し、一般品種による飼料用米の作付転換を図る。

イ 米粉用米

現状、作付予定はない。

ウ 新市場開拓用米
現状、作付予定はない。

エ WCS用稲
現状、作付予定はない。

オ 加工用米
産地交付金を活用しつつ、ホクレンとの調整を主とし、主食用米の需要の減少に対応していく。

(4) 麦、てん菜、大豆、飼料作物

麦、てん菜に関しては関係機関と連携し、需要に応じた作物生産を推進し、生産性向上を図る。飼料作物においては牧草・デントコーン等の自給率を向上させる為に、転作田や休耕田など水田活用を進め作付維持・拡大を図りたい。

(5) そば、なたね

現状、作付予定はない。

(6) 高収益作物

ブロッコリー・キャベツ・トマト・ハウレン草・スイートコーン・カボチャ

地域振興作物であるブロッコリー・キャベツ・スイートコーン・カボチャにおける生食用、加工用の推進と契約栽培等が盛んな南瓜に対し、加工用の生産及び生食用の収量の確保及び品質の向上を目指すために排水対策を取組むことで安定化を図る。

地域の振興作物であるトマト栽培において、近年多発するアザミウマ類の害虫対策として防除の徹底を行い収量及び品質の向上を図る。また、6月から7月にかけての気象条件（降雨・濃霧）により、灰色かび病が近年多発していることから、灰色かび病対策として防除の徹底を行い、収量及び品質の向上を図る。

伊達市の温暖な気候を活かし、冬野菜ハウスの需要拡大とブランド化に向けた地域の振興作物であるハウレン草などの収量及び品質の向上を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	180	180	180
備蓄米	0	0	0
飼料用米	0	8	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	29	29	29
麦	2	10	10
大豆	0	0	0
飼料作物	44	44	45
・子実用とうもろこし	0	3	5
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
高収益作物	73	80	85
・野菜	70	75	80
・花き・花木	0		0
・果樹	0		0
・その他の高収益作物	3	5	5
その他	6	6	10
・てん菜	6	6	10
畑地化	2	2	2

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	キャベツ・ブロッコリー ホウレンソウ・トマト	地域振興作物栽培	作付面積	(2年度) 5,164a	(5年度) 5,714a
2	スイートコーン・カボチャ	被覆資材利用栽培	作付面積 早期出荷栽培面積	(2年度) 1,866a (2年度) 1,866a	(5年度) 2,900a (5年度) 2,900a
3	ホウレンソウ・トマト	収量・品質向上栽培①	作付面積 収量（反収）	(2年度) 478a (2年度) トマト 7,195kg/10a ホウレンソウ 1,133kg/10a	(5年度) 678a (5年度) トマト 7,600kg/10a ホウレンソウ 1,350kg /10a
4	キャベツ・ブロッコリー	収量・品質向上栽培②	作付面積 収量（反収）	(2年度) 4,686a (2年度) ブロッコリー 1,011kg/10a キャベツ 5,662kg/10a	(5年度) 5,036a (5年度) ブロッコリー 1,200kg/10a キャベツ 5,800kg/10a
5	スイートコーン・カボチャ	収量・品質向上栽培③	作付面積 収量（反収）	(2年度) 1,866a (2年度) スイートコーン 899kg/10a カボチャ 1,404kg/10a	(5年度) 2,900a (5年度) スイートコーン 980kg/10a カボチャ 1,690kg/10a

6	飼料作物	資源循環 (耕畜連携)	作付面積 耕畜連携取組実施率	(2年度) 43.8ha (2年度) 7.4%	(5年度) 46ha (5年度) 25%
7	甜菜	湿害対策	作付面積 収量(反収)	(2年度) 5.7ha (2年度) 6,263kg/10a	(5年度) 22.0ha (5年度) 6,700kg/10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

○地域振興作物一覧

・ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、トマト

○被覆資材利用栽培作物一覧

・スイートコーン、カボチャ

○収量・品質向上①栽培作物一覧

・ほうれん草、トマト

○収量・品質向上②栽培作物一覧

・ブロッコリー、キャベツ

○収量・品質向上③栽培作物一覧

・スイートコーン、カボチャ

○資源循環(耕畜連携)作物一覧

・飼料用作物

○湿害対策作物一覧

・甜菜

※ 農業再生協議会の構成員一覧(会員名簿)を添付してください。